

つれづれ

平成28年9月13日(火)

もう一つのオリンピック



障がい者スポーツの最高峰。パラリンピックがリオデジャネイロで開催されています。南米での開催は、初めてだそうです。パラリンピックという名称は、パラプレジア（せきずいそんしょう脊髄損傷による下半身麻痺）とオリンピックを合わせた日本人による造語だそうです。初めてオリンピックと同一都市で開催された1964年の東京大会での愛称でした。

その後、ソウルオリンピック（1988）からは、パラレル（並行）オリンピックの略と解釈が変更されました。

史上最多の約4300人が参加している今大会は、本日で6日目を迎えました。この間、日本は銀メダル3個、銅メダル5個と健闘中です。（13日正午現在）日本人選手団の目標は、10個の金メダル獲得することだそうです。今後の活躍と目標が達成できることを祈ります。

ところで、皆さんはマーティン・ニューマンという人物を知っているでしょうか。この人物は、2020東京五輪の誘致プレゼンテーションをコーチングしたことで有名です。「お・も・て・な・し」の演出は、この人によるものです。日本人のスピーチにおける弱点である、笑顔不足やジェスチャー下手の克服を指導したそうです。

ニューマン氏は、ロンドンパラリンピック（2012）に対して次のように言っています。

「私たちは障がい者をかわいそうだと思っていたが、大会で出会ったのは偉大な人々でした。ロンドンが成功したのではなく、パラリンピックがロンドンを変えたのです」

また、今大会の開会式で、大会委員長のヌズマン氏は、「選手の皆さんは、人間の限界を超えたヒーローだ」と述べて、多くの共感を呼びました。

閉会式が行われる18日まで、すべての選手が最高のパフォーマンスをし、スポーツによって世界がつながることを願います。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>